

1. 現役活動報告

★ 東京都高校総体 -石塚, 山田, 男子 400mR 南関東大会へ! (男子 400mR は 13 年ぶり)-

2019年5月11, 12, 18, 19日の4日間, 東京都高校総体が駒沢オリンピック公園陸上競技場にて行われた。

高2石塚は春先から調子がよく, 今大会でも男子1500mで大会新記録を樹立, 男子5000mでも第5位に入賞し, 2種目で南関東高校総体へ進出することになった。また, 高3山田は3000mSCで実力を発揮し, 第4位に入賞, こちらも南関東高校総体へ進出を決めた。また, 男子400mRでは他校との走力差を跳ね返す見事なバトンワークを見せて第5位に入賞し, 13年ぶりの南関東高校総体へ進出となった。その他, 入賞こそできなかったが, 48秒台をマークした女子400mRや男子5000m決勝に進出した辻(高3), 女子200m準決勝に進出した中村(高2)など出場した選手は皆よく頑張ってくれた。

★ 南関東高校総体 -石塚, 男子 1500m と男子 5000m でダブルインターハイ進出を決める-

2019年6月14日から17日まで茨城県笠松運動公園陸上競技場にて南関東高校総体が行われた。この大会でも高2石塚の勢いが止まらない。初日, 男子1500mで第2位に入賞し, 早実では3年ぶりとなる全国高校総体への出場を決めると, 翌日の男子5000mでも大雨が降り, 前日の疲労があるのにも関わらず第3位に入賞, なんとダブルでインターハイの切符を掴んだ。13年ぶりの出場となった男子400Rは悪条件の中, チームベストをマークするも南関東の厚い壁に阻まれた。また, 男子3000mSCに出場した山田もインターハイを狙ったが, 惜しくも予選敗退となった。

★ 都選抜, 1年生大会 -佐藤・齋藤が1年生大会で入賞, 辻二冠, 男女 400mR 入賞など-

2019年7月13, 14日非常に暑い中, 東京都高校選抜陸上競技大会と1年生大会が駒沢オリンピック公園陸上競技場にて行われた。まず, 1年生大会であるが, 女子100mで佐藤, 男子3000mで齋藤が第8位にそれぞれ入賞した。同日に行われている都選抜では試験明けの難しいスケジュールの中, 活躍する選手が多かった。圧巻は辻である。辻は男子1500m, 男子5000mで二冠に輝く活躍を見せてくれた。辻は前年度も男子5000mで優勝しており, この大会の相性の良さを感じさせられた。長距離は他にも南関東に出場した山田も男子3000mSCで第3位に入賞した。短距離は高2大竹が男子400mで第8位, 男子400mRは第5位, 女子400mRは第6位にそれぞれ入賞した。

★ 全国高校総体 -石塚, 男子 1500m と男子 5000m でダブル入賞, 全国でただ 1 人! -

2019年8月4日から7日まで沖縄県タピック県総合体育館にて早実3年ぶりの全国高校総体が行われた。唯一の出場となった高2石塚は好調を維持, 男子1500mと男子5000mでどちらも第8位に入賞し, なんと全国でただ1人のこの2種目ダブル入賞を果たした。特に男子1500mは留学生を除けば2年生以下の選手でトップの記録であり, 来年は早実史上初のインターハイ個人優勝が期待される。

★ 私学陸上 -男子 1600mR 優勝, 短距離高 3 有終の美! -

2019年8月21~23日の3日間, 駒沢オリンピック公園陸上競技場にて東京都私立中学高校陸上競技大会が行われた。中学・高校, 男子・女子, 短距離・長距離の全部員が参加するこの大会は陸上競技部の中でも一大イベントであり, 伝統的に短距離ブロックの高校3年生はこの試合が引退試合となっている。初日は, 高3短距離キャプテンの新上が男子400mで第2位, 高3町田が男子1500mで第7位にそれぞれ入賞し, 男女の400mRでも全員高校3年生のオーダーでダブル入賞を果たし, いい結果を残すことができた。2日目は, 中1男子100mで丸山が好走を見せ, 第5位に入賞を果たした。中学男子短距離の入賞は久々のことである。また, 高2中村も女子走幅跳で第3位に, 中学低学年400mRも第4位に入賞した。3日目であるが, 女子短距離を引っ張った高3椎野が200mで第7位に入賞, 成長著しい長距離の中2鈴木も第3位に入賞, そして高3辻と栗原が男子800mでそれぞれ第4位と第5位に入賞, さらに高3上田も女子800mで第6位に入賞するなど個人種目の奮

闘が目立った。また、男子 1600mR は各々が今シーズン最高の走りを見せ、なんと優勝を飾った。この試合が初出場となる女子の 1600mR でも入賞し、これで高校 3 年生は 400mR, 1600mR で男女ダブル入賞を果たし、有終の美を飾った。

★ 東京都高校新人 –高 2 中村が女子 100m, 200m でダブル入賞, 女子 200m は関東新人へ！–

2019 年 9 月 21~23 日の 3 日間、駒沢オリンピック公園陸上競技場にて東京都高校新人陸上競技大会が行われた。代替わりをして臨む最初の公式戦では、高 2 中村の活躍が目立った。今まで決勝に進むかと思われてもそのたびに厚い壁に阻まれていたが、今大会で殻を破り 100m と 200m の 2 種目で入賞を果たした。女子 200m では関東高校新人への切符を掴んだ。また、選手層の厚い男子 400mR では都総体の勢いのまま、今大会でも第 8 位に入賞を果たした。

★ 国民体育大会 –高 2 石塚、再び全国の舞台で活躍！少年 A5000m で入賞！–

2019 年 10 月に茨城県の笠松運動公園陸上競技場にて国民体育大会が行われた。今大会に東京都の少年 A5000m の代表選手に選ばれた高 2 石塚はその期待に応え、インターハイのとき同様、またしても全国の舞台で第 8 位(14:16.76)に入賞した。

★ 関東高校新人 –高 2 中村が出場するも、惜しくも入賞ならず–

2019 年 10 月に千葉県の千葉県スポーツセンター東総運動公園陸上競技場にて関東高校新人陸上競技大会が行われた。高 2 中村は初の関東レベルの大会出場となったが、女子 200m で惜しくも予選落ちとなってしまった。しかし、この大会を経験できたことは大きく、今度は出るだけでなく、勝ちにこだわっていききたい。

★ 全国関東駅伝東京都予選 –男子チームは 15 年連続の関東駅伝進出！–

長距離部員にとっての一大イベント、東京都高校駅伝であるが、今年度は台風の影響で荒川河川敷が使えず、男子は舎人公園陸上競技場、女子は国士舘大学多摩キャンパスでのトラックで「全国関東駅伝東京都予選会」として記録会形式で行われた。そんな中、男子チームは高 2 石塚を怪我で欠くオーダーとなりながらも長距離キャプテン辻を始め、町田、山田、栗原ら高 3 部員の懸命の走りや、初出場ながらも動じることなく走った高 1 元山、齋藤、成長著しい高 2 和田らの奮闘の結果、第 5 位に入賞し、2005 年から続く関東高校駅伝大会出場を継続させた。また、日を変えて行われた女子の大会では高 3 上田、高 2 金子、高 1 吉川の中長距離ブロックの部員に加え、学力試験を終えたばかりの短距離ブロック高 3 柳橋と前田が走ってくれることで出場を果たし、第 35 位という結果を収めた。

★ 関東高校駅伝 –高 3 辻、東京都歴代最高記録を更新！–

都大会に続き、関東大会もトラックレースでの形式となった。今大会は記念大会で、都大路の最後の切符を掴みに行ったが、22 位とそれを叶えることはできなかった。しかし、圧巻は高 3 辻である。第 1 区として 10000m を走ると、関東の強豪選手の中にも見事な走りを見せ、29 分 32 秒 36 という素晴らしい記録をマークした。なお、この記録はそれまで本校 OB の武田凜太郎が持っていた東京都最高記録を更新する快挙であった。なお、この大会を以って長距離とマネージャーも高校 3 年生は引退となり、全ブロックで新チームへ移行するのであった。

★

★

★

これ以外の大会でも多くの選手たちが活躍をしてくれた。スペース的にすべてを載せることができないので、残りはホームページをご覧ください。

★ 一橋大学グランドをに使わせて頂くことになりました！

ここ数年、練習場所の確保に苦慮しておりますが、諸方面の皆様のご協力により、学校にほど近い国立にある、一橋大学のグランドを使わせて頂けることになりました。これは、一橋大学陸上部OB会の皆様の暖かいご理解によるものです。当面の使い方は一橋大学陸上部と相談の上決めていきますが、ありがたいご縁であることを肝に銘じつつ、感謝して使わせて頂こうと思います。

陸上競技部顧問 宗雪 史弥

2. 卒業生の活躍

★ 武田凜太郎、ニューイヤー駅伝で健闘！

正月に行われた全日本実業団対抗駅伝競走大会(ニューイヤー駅伝)において、本校卒業生の武田凜太郎(ヤクルト)が1区に出場し、区間10位と健闘しました(チームは総合7位)。武田はまた、2月に行われた都道府県対抗駅伝にも東京都チームで出場しました。

・武田凜太郎 DATA

千葉県野田市出身。高等部推薦入試で早稲田実業に入学。在学中の高校3年時には都道府県対抗男子駅伝に東京都代表として出場し、5区区間賞。早稲田大学に進学後も箱根駅伝を3回走るなど活躍。卒業後はヤクルトへ入社。

・本人コメント

ニューイヤー駅伝の応援ありがとうございました。私は今回1区を走りましたが、チームの14年ぶりの入賞に貢献することができ、心から嬉しく思います。日本のトップ選手らと戦うにはまだまだ力不足であることを感じた大会でもありますので、来年はさらに上位を目指し、1年間、日々の練習に取り組んでいきたいと思っています。

また先日、高校3年生時ぶりに出場した都道府県対抗男子駅伝では、思うような走りをするできませんでした。しかし、東京代表としてこの舞台に戻って来られたことを幸せに感じます。

今年はトラック種目での日本選手権出場を目標にしています。自らの目標達成に向け、ひたむきに努力を重ね、大きな飛躍の1年としたいと思います。今後ともどうぞ応援よろしくお願いいたします。

★ 大前千晶、京都マラソンで優勝！

2月に行われた京都マラソンで、本校卒業生の大前千晶(早稲田大学大学院スポーツ科学研究科・修士2年)が優勝しました。タイムは2時間45分25秒でした。

・大前千晶 DATA

神奈川県横浜市出身。高等部一般入試で早稲田実業に入学。在学中の高校2年時には2年生ながら東京都高校駅伝で2区を走り区間3位。女子長距離ブロック初となる関東高校駅伝出場の原動力となった。高校3年時にも同大会で1区を走り、区間2位。早実最高順位の4位で2年連続関東駅伝へチームを導いた。卒業後は勉学との両立の中で記録会や競技会に出場。

・本人コメント

平成25年度卒業の大前千晶と申します。2020年2月16日に行われた京都マラソンに出場し、2時間45分25秒で優勝しました。

前回出した自己記録を6分更新しての優勝は自分でも予想していませんでした。3回目のフルマラソン挑戦で、このような結果を残せたこと、非常に嬉しく思います。京都マラソンのコースは起伏に富んでおり、辛い場面もありましたが、沿道からたくさんの方の応援をいただき、最後まで楽しく走ることができました。

これからも一市民ランナーとして走り続け、自己記録更新できるよう頑張ります。

★ 宍倉健浩、箱根でアンカーを務める！

正月の箱根駅伝において、早稲田大学は昨年のシード落ちのショックを払いのけ、総合7位でシード限を獲得しました。本校卒業生の宍倉健浩(3年)が、アンカーで出走し、区間8位の走りでフィニッシュしました。

・宍倉 健浩 DATA

千葉県君津市出身。高等部推薦入試で早稲田実業に入学。5000m14分04秒54(高等部3年時)の早実記録保持者。在学中の高校3年時には都道府県対抗男子駅伝に東京都代表として出場し、4区で区間4位。早稲田大学に進学後は1年時から全日本大学駅伝を走るなど活躍。3年目でついに掴んだ2020箱根路では10区アンカーを走り、駒大とのデッドヒートを制し、7位でゴールテープを切った。

・本人コメント

今年の箱根駅伝で10区を走らせていただいた早稲田大学3年の宍倉健浩です。1月2日3日は多くの声援ありがとうございました。小学生から目標にしていた箱根駅伝、70分間最高の気分で走ることができました。ここまでの3年間、高校を含めると6年間いろんな失敗があり、辛いことも多い陸上人生でしたが、それすらも忘れるほどの絶えることなく続く沿道からの声援は一生忘れることのない経験になりました。

今年はチームとして総合7位、個人としても出走しただけになってしまったので、来年は最終学年として総合優勝できるチームを作っていきたいと思います。本当に沢山の応援ありがとうございました。これからも引き続き応援宜しくお願い致します。

3. 役員会よりお知らせ

★会費納入のお願い

会の維持・会員への連絡・現役への支援などのために、社会人の皆様から3,000円の会費を頂いております(学生の方は免除させて頂いております)。一昨年までコンビニ振込を使っておりましたが、手数料が高く皆様からのご厚意が無駄になってしまう率が高いこと、準備・処理に少々手間がかかること、近年はネットバンキング等があり、振込にさほど手間がかからないことなどの理由から、昨年度より支払い方法を銀行振込に変えさせて頂きました。

三菱UFJ銀行 国分寺支店 普通口座0113511(早実陸友会)まで、直接お振り込み頂ければ幸いです。

なお、誠に勝手ながら、手数料は振込者負担でお願いいたします。

また、振込者を迅速に確認できるように、「1985 キムラノリヒサ」というように、お名前の前に卒業した年を西暦で入れて頂けると幸いです。

2018年度会計報告

2018年度 早実陸友会 会計		
収入		
前年度繰越金		307082
OB会費(口座に直接振込)		90000
利息(2019.02-2019.08)		2
計		397084
支出		
総会用往復ハガキ		43400
プロバイダ料金		11800
総会不足金補填		7710
ラベルシール		756
ドメイン登録		2200
発送料		29315
振込手数料		108
陸上部へ寄付		50000
計		145289
預金		251795

早実陸友会通信 第8号 2020.3.24

発行／早実陸友会事務局

宗雪史弥(陸上競技部顧問)、鈴木雅隆(陸上競技部副顧問)、北爪貴志(陸上競技部副顧問)

早実陸友会HP(陸上部HP)

<https://wasedajgtf.com/info/>

※本誌掲載事項の無断転載を禁じます